

○理工学研究科のアドミッション・ポリシー（AP：入学者受入れの方針）

＜求める入学者像＞

社会や産業構造が急速に変化し、科学技術をどのように社会や産業に還元するかが問われ続ける一方、SDGs, Society 5.0 などが指し示す新たな価値の創造に貢献できる人材の不足が指摘されています。大学・大学院には、社会・産業の変化に柔軟に対応し貢献できる人材を育成し、継続して社会に輩出する重要なミッションがあります。これらの情勢のもとで、愛媛大学大学院理工学研究科は、自然科学から応用科学まで幅広く特色ある教育体制・研究体制を整えて、高度な知識、新しい価値観を有し、地域とつながり、あるいはグローバルなステージで、創造力豊かに活躍できる高度理工系人材の育成を目指します。

この目的のために、理工学研究科では、理工系の研究者、技術者、高度専門職業人を目指す国内外の大学課程修了（予定）者、社会人等を対象に、次の資質・志を有する入学者を募集します。

【博士前期課程】

- 1.＜学識の基礎＞学士課程修了に相当する知識・教養・倫理観を備えており、自律的に理工学の専門分野を学修し、研究活動に応用する準備がある。
- 2.＜基礎的研究活動力＞研究活動に必要な調査能力・論理的思考力・英語力・コミュニケーション力・プレゼンテーション能力等の基礎的技能を有している。
- 3.＜科学・技術に生きる意志＞研究者、技術者、または高度専門職業人として立身し、専門分野の知識と技能を社会、文化、地球環境保全のために役立てる志を有している。

【博士後期課程】

- 1.＜学識＞博士前期課程修了に相当する十分な学識・倫理観・基礎技能を備えており、さらに高度な学識を自律的に確立して、研究活動に応用する準備がある。
- 2.＜研究活動力＞博士前期課程相当の専門基礎能力を要する研究活動を主体的に実施した経験があり、さらに高度な研究・開発能力を自律的に修得するための基盤的な研究活動力を備えている。
- 3.＜科学者・技術者の志＞独立した研究者として、人類と地球環境の未来に貢献するために諸問題を解決できる科学・技術のフロンティアを目指す志がある。

＜入学者選抜の方針＞

選抜試験において学識・研究活動力・意志が備わっているかを総合的に評価し、「求める入学者像」に沿った素養を有する入学者を選抜します。

【博士前期課程】

(1) 一般選抜

一般選抜では、専門分野に係る個別学力試験（筆記）、及び出願書類による評価を実施し、入学後の修学に必要な学識の基礎、基礎的研究活動力、科学・技術に生きる意志について総合評価して選抜します。

(2) 推薦入学特別選抜

推薦入学特別選抜では、在学中の大学学部等での学業成績等に基づく所属学校等からの推薦によって応募した志願者を対象に、口頭試問を含む面接、および出願書類による評価を実施し、入学後の修学に必要な学識の基礎、基礎的研究活動力、科学・技術に生きる意志について総合評価して選抜します。

(3) 総合型特別選抜

総合型特別選抜では、国内外の大学課程修了（予定）者、外国人留学生、社会人の志願者を対象に、口頭試

問を含む面接，及び出願書類による評価を実施し，入学後の修学に必要な学識の基礎，基礎的研究活動力，科学・技術に生きる意志について総合評価して選抜します。

【博士後期課程】

(1) 一般選抜

一般選抜では，大学院博士前期課程修了（予定）の志願者を対象に，口頭試問を含む面接，及び出願書類による評価を実施し，博士後期課程入学者に要求される学識，研究活動力，科学者・技術者の志について総合評価して選抜します。

(2) 総合型特別選抜

総合型特別選抜では，国内外の大学院博士前期課程修了（予定）者，外国人留学生，社会人の志願者を対象に，口頭試問を含む面接，及び出願書類による評価を実施し，博士後期課程入学者に要求される学識，研究活動力，科学者・技術者の志について総合評価して選抜します。